

肺血栓塞栓症患者の臨床的特徴およびその後の臨床イベントとの関連に関する研究

1. 研究の対象

2013年1月～2022年3月に当院で肺血栓塞栓症と診断された方

2. 研究目的・方法・期間

肺血栓塞栓症は近年の診断機器の開発、予防法の改善にもかかわらず発症頻度が増加傾向にあります。また、長期的に見ると血栓症の再発や出血といった合併症が高率に発生することが知られています。その原因として高齢化やがんをはじめとした併存症の増加などが考えられていますが未だ明らかではありません。本研究の目的は近年の肺血栓塞栓症患者さんの臨床的特徴を明らかにするとともに、その長期予後を調査し臨床的特徴や治療法などとの関連を明らかにすることを目的としています。本研究により血栓症再発や出血などの合併症の発生と関連する事象を明らかにすることでハイリスク患者の発見、新たな予防法の開発につながることを期待されます。研究期間は学校長承認後～令和9年（2027年）3月31日までを予定しています。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

カルテ調査を行い、患者さんの基本情報（年齢、性別、現病歴、既往歴、生活歴、家族歴、内服歴など）とこれまでに施行した各種検査項目（血液検査、心電図、心エコー、造影CT、心臓カテーテル検査等）、長期的な臨床イベント（肺血栓塞栓症再発、出血イベント、全死亡、死因）等の情報を収集します。患者さんのカルテの情報は新しい研究用の番号を付けて加工し、個人が特定されない形で研究に使用します。

4. 研究に用いる試料・情報の管理者

試料・情報の利用については、研究用のID番号を作成し、直ぐには個人を特定できないように加工したもの（仮名加工情報といいます）を作成します。作成時の情報については研究責任者（長友祐司）が厳重に管理します。また、加工後の情報についても、この研究に参加する研究者のみで利用します。

5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

資料 3

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者 防衛医科大学校 循環器内科 長友祐司

〒359-8513 埼玉県所沢市並木 3-2

TEL: 04-2995-1211